

明石市行政改革実施計画（案）の概要 （平成23年度～平成25年度）

資料 1

基本理念

市民満足をもつ行政経営

本市の行政経営の4つの理念

市民視点

目標の明確化と評価の重視

コスト意識の徹底

部門ごとの自立性の向上

目標 1

市民と市役所の パートナーシップ の構築

着眼点

柱

- 協働によるまちづくりの推進
- 地域コミュニティの担い手づくり
- 市民主体型・協働型事業の充実
- モニター制度の充実 等

その他

- 情報の共有
- 市ホームページの改善 等
- 市民参画の機会の拡大
- 市民参画の機会の拡大

目標 2

選択と集中の実現

着眼点

柱

- 施策評価のしくみづくり
- 施策の体系化と評価しくみの構築

その他

- 事務の簡素・効率化
- 民間の視点による業務改善
- 情報システムの再構築 等
- 民間の力の活用
- 指定管理者制度・民間委託の活用
- 公営企業経営改革
- 市営バスの民間移譲
- 市民病院の地方独立行政法人化
- 上下水道部の組織統合 等
- 外郭団体の見直し

目標 3

公共サービスの質 の向上

着眼点

柱

- 利便性を高めるサービスの提供
- 窓口サービスの抜本的見直し
- インターネット施設予約システムの導入
- 税・料等の納付環境の整備
- 公共施設の稼働率向上
- 保育所の受け入れ態勢の充実 等

その他

- 市民ニーズ・満足度の把握
- 市民満足度の調査の実施

目標 4

職員力の向上

着眼点

柱

- 戦略的な人事管理の推進
- 人材育成型人事制度の推進
- 行政需要に対応できる戦略的で柔軟な職員配置 等

その他

- 組織の見直し
- 組織の簡素・効率化と各部の権限の強化
- 職員の意識改革
- 人物重視の職員採用
- 課題解決型人材開発の推進 等

目標 5

財政の健全化

【数値目標】

- 経常収支比率95%未満
- 基金残高40億円の確保
- 収支改善目標総額30億円
- 総人件費5%削減

着眼点

柱

- 公共施設の有効活用
- 公共施設の有効活用・長寿命化（ファシリティマネジメントの導入）

その他

- 施策・事務事業の見直し
- 施策・事務事業の見直しによる事業費の削減
- 総人件費の削減
- 給与の適正化
- 歳入の確保
- 公共施設における広告収入の確保
- 産業活性化による歳入の確保
- 各種減免制度の見直し
- 転入者誘導策の推進 等

行政経営とは？

「行政の目的を達成するために、目標を定め、組織を整えて、限られた資源を効率的に配分しながら、持続可能な運営を行うこと」です。

その中身は、上記の本市の行政経営の4つの理念に整理できます。